

伐採ツアーに参加しました



「木曾三川の木で家をつくる会」主催で郡上市美並町において大塚林業さんの伐採を初めて見ました。かつて私の祖父も美並町で林業をしていたらしいので感激もひとしおでした。

あらかじめ倒す方向に切れ目を入れ、ワイヤーを二人がかりで引き寄せて倒していました。商品価値のない樹木は倒したまま放置します。採算が厳しい為やむを得ないそうです。

恥ずかしながらこれまでスギとヒノキの違いがよくわからなかったのですが、ヒノキは、葉がYの字、スギは、綿のようになっていることを知りました。今回は、樹齢100年の木を伐採しました。ちなみにスギは成長が早く、ヒノキは、成長が遅いです。伐採後は100年後の伐採に備え植栽されています。改めて「木」への思いが強くなったツアーでした！

断熱材とは？

「断熱材を入れると夏涼しくて、冬暖かいですよね？」
と、お客様にきかれました。

熱いお鍋を、フキン等を使って触れるとそれほど熱くないですね。このように熱を伝わりにくくする目的の材料が断熱材と呼ばれています。

「熱を伝わりにくくするもの」なので、冷房や暖房の効率を高めるために建物の天井、壁、床に使われ始めました。ですから、冷暖房をつかってこそ断熱材の効果がでるのです。

「熱が伝わりにくいもの」は熱を保ちます。熱をもったものはゆっくりじわじわと熱を放出します。ですから、夏、昼間に熱をしっかりと吸収した断熱材は夜になって放熱し始め、部屋が蒸し暑くなります。ですから冷房を好まない方には断熱材は使わないで、土壁をおすすめします。通風優先の間取りがいいと思います。ただし、冬も熱を保持しないので薪ストーブ等、高熱源のものがいいと思います。

このように断熱材を入れただけで夏涼しくて冬暖かくなるわけではなく、冷暖房を少し使うだけで、部屋の冷気や暖気が保たれるということです。



国産材住宅普及推進
キャラクター「モクゾー」

新築・リフォーム・耐震改修・太陽光発電・家電販売は

丸河建築(有)

〒494-0016 一宮市東加賀野井字東川原75番地 URL <http://www.fp-maruken.com/>

営業日時:月曜日～土曜日 午前8時～午後6時 日曜日、祝日はお休み

Tel (0586)68-1984

携帯 090-3251-9093

E-mail info@fp-maruken.com

現場より～



現在、国産材を使った増改築をすすめています。
10㎡の増築とキッチン、お風呂、トイレのリフォームです。

リフォームはほとんどの場合、お客様がそこに住みながら工事をすすめるので、少しでもお客様の精神的負担が大きくなるように半日きざみでスケジュールを組んで、スムーズにすすむようにしています。

こちらのお宅は構造材に産地から直接仕入れた国産材を使っています。

「なんかいいね。」

国産材を現場に運んだ時に、お客様が言った言葉です。

そうなんです、国産材って本当にいい香りがして、見た目にもあたたかく、「なんかいい」のです。
なぜそう思うのか…それは私たちと同じ高温多湿で四季があるこの日本の気候で育った木だからこそ、日本人に「なんかいい」心地よさ快適さがあるのです。

考えてみれば、輸入材は人里はなれたジャングルの奥から伐採してきています。その木が気候も風土も違う日本にやってきて、家になっても自然な心地よさを感じられるでしょうか？

「木の香りにいやされる暮らしがしたい」「なぜか木の家にあこがれる」そう思いの方も少なからずいると思います。その一方で「高くて手が出ないのでは？」「木の家にはあこがれるけどメーカーの方が結局はいいのでは？」とお思いの方もいると思います。ところが、木の家は国産材を使えばそんなに遠い存在ではないのです。

使い込めば使い込むほどに愛着がわき、味わい深くなる木。ぜいたくなひとときが流れる魅力的な木の家をもう一度見直してみませんか？今なら国から200万円の補助金を受けることができます。



当社では毎週土曜日「住まいの相談会」をしています。
国産材住宅についてのご質問、ご相談をはじめ、住まいに関することなら何でもお話をうかがいます。

一日二組限定で予約制なので、お早めにお申し込みください。
お待ちしております！